

◇すべての子どもの健やかな育成の基盤となる地域の取組

- ア. 妊婦健診に関して、望ましい受診回数に比べて、公費負担でカバーされている回数が少ない。
- イ. 生後4か月までの全戸訪問、地域子育て支援拠点といった地域の取組、安心して親子で過ごせる場所や安心できる放課後の居場所などの社会的な子育て基盤など、子育て家庭を支える基盤的な取組が不十分である。
- ウ. 放課後子ども教室推進事業の取組が十分に進んでいない。
- エ. 社会的養護体制は質・量ともに十分に対応できていない。特に、家庭的な環境の下、地域の中でその個別性を確保しながら養育を行い、子どもが社会に巣立つよう支援が必要だが、個別的な対応ができていない。
- オ. 社会的養護の下で育った子どもは、施設等を退所し自立するに当たって、保護者等から支援を受けられない場合も多く、様々な困難に突き当たることが多い。

(取組事例)

事業名	取組自治体	事業概要	対応する課題
妊婦健康診査費用助成制度		妊娠健康診査健診費用を自治体で負担。	ア
出産費用助成		分娩や入院にかかる出産費用のうち、出産育児一時金等を差し引いた金額の助成等。	ア
乳幼児医療費助成		乳幼児にかかる医療費の助成。	ア
歯科検診		乳幼児健診とあわせて、歯科検診の実施。	ア
聴覚健診	羽島市 揖保川町 他	新生児聴覚検査費の助成。	ア
プレーパーク事業	世田谷区	住民との協働により、プレーリーダーや地域ボランティアのもと、子どもたちの好奇心を大切に、自由にやりたいことができる遊び場づくりを実施。	イ
おもちゃ図書館		障害のある子どもたちにおもちゃを用意し、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ機会を提供し、家でも遊べるよう貸し出しを行う。家族にも仲間作りや情報交換の場となっている。	イ
子育て相談室	浦安市	育児相談の総合窓口を開設し、独自に養成した「子育てケアマネージャー」が子育ての悩み全般に対し、適切な支援サービスを案内。	イ